



水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わります 警戒レベル4で全員避難へ！

国は西日本における平成30年7月豪雨を教訓とし、避難情報等の意味を直感的に理解できるように、避難情報や防災気象情報を5段階に分ける「警戒レベル」の運用を始めました。これに伴い、町は従前の避難情報と併せて、新たに「警戒レベル」を発令し、避難のタイミングをお伝えします。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令（町が発令）
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示（緊急） 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令（町が発令）
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 （町が発令）
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報・大雨注意報等 （気象庁が発表）
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報（気象庁が発表）

なお、各種の情報は警戒レベル1から5の順番で発令されるとは限りません。気象状況は急変する可能性もあります。また、これらの情報が発令されていなくても、身に危険を感じる場合は直ちに安全な場所に避難をしてください。

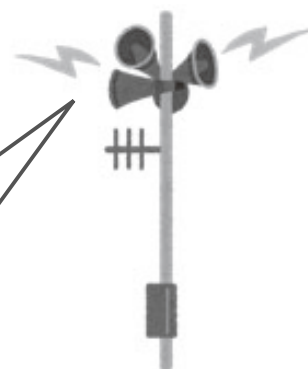
次のような内容で町から避難行動を呼びかけます。
※土砂災害に係る避難勧告発令の場合

緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。

こちらは、防災もろやまです。

土砂災害に関する**警戒レベル4**、避難勧告を発令しました。

（以下、発災状況に応じて、避難所等の情報を伝達します）



警戒レベル3や警戒レベル4で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

鎌倉街道

第4回『古道を楽しむ会』に聞く鎌倉街道の魅力

毛呂山町歴史民俗資料館のボランティアサークルの一つに「古道を楽しむ会」があります。「古道を楽しむ会」は平成18年に設立され、毛呂山町歴史民俗資料館に拠点を置き、鎌倉から高崎間の鎌倉街道を中心に沿線の歴史を学び、史跡等を歩く活動をしています。活動日は月1回で、本年7月までに193回もの活動を行ってきました。また、鎌倉街道を歩く



インタビューに答えてくださった「古道を楽しむ会」の皆さん
(中央が丸井雅年会長)

だけでなく、清掃活動など毛呂山町の鎌倉街道の景観を守るボランティアも行っていきます。活発な活動をされている「古道を楽しむ会」の皆さんに鎌倉街道の魅力についてインタビューしてみました。

―鎌倉街道を歩いてみて、どのような点が魅力だと思いますか？

(会員) 鎌倉街道は、鎌倉から何本もの本道があり、さらに本道からそれる脇街道といわれる道も多くあって興味のつきない道です。そのように複雑なうえ、江戸時代の街道と違って判明していない点も多いので、かえってそれが魅力的です。

―193回もの活動をされていますが、何度も同じ道を歩くのでしょうか？

(会員) 何度も歩くと見方が変わってくるのです。1度目は気づかなかったことも、2度目は新しい発見があり、3度目は余裕をもって見ることができます。何度繰り返しても楽しみは減らないですね。

(会員) 企画する人によってコースも違うし、季節も違う。視点も異なっているので楽しいですね。鎌倉から高崎間の鎌倉街道を歩いているのですが、街道沿線に残る歴史を調べて周辺の史跡や寺社を訪ねたり、脇街道に足を延ばしたりと歴史への興味は尽きないですね。

(会員) 事業部門の会員が企画をして3か月前に下見をし、充実した資料を作成していますので、参加者からは何も知らなくてもわかりやすいと評判なんです。

―他所の脇街道を歩いてみると、毛呂山のような鎌倉街道の本道との違いがわかるのですか。

(会員) そつです。脇街道は整備されていないのでアップダウンがあり、歩きづらい道ですが、毛呂山のような鎌倉街道の本道は高低差がなく、真っ直ぐ歩けるように整備されていたことがよくわかります。

―これからどのような活動をされていきたいですか？

(会員) 現在の活動がとても充実していますので、これを継続していきたいです。また、資料館まつりでの鎌倉街道ツアーも充実した内容にして、より多くの町民の皆さんに鎌倉街道が親しまれるよう努力したいと思います。



▲今年5月に開催した資料館まつりでの鎌倉街道ツアーの様子

―町民の皆さんにメッセージをお願いします。

(会員) 毛呂山の鎌倉街道は、他所と違って中世のロマンを感じられる場所です。源頼朝や新田義貞が通ったように、すべての道は鎌倉へ、という時代があったことを想像しながら歩いてみてください。

(会員) 「鎌倉時代の高速道・鎌倉街道」を歩いてみましょう！

「古道を楽しむ会」の皆さんは、鎌倉街道を歩くことで歴史を知る楽しみを味わっていることを嬉々として語ってくださいました。

このような活動が、鎌倉街道の理解を深め、ひいては保護にもつながっているのではないのでしょうか。